

修行中の駄天使がおじさんと援交しちゃう18禁同人CG集!

駄天使援交！ 待ったなし！

基本12枚
セリフ無し差分、サイズ差分込みの全192枚構成。

ピタゴラス

はい！ お金、欲しいですっ！！

そう、ネットゲ三昧の日々を送る為には
お金が必要なんだ。
援交つてめっちゃ稼げるらしいし、
ここはいつちよ気合いれて……。

ふふ、いい返事だね。
おじさんも、嬉しくなっちゃうなあ。
ガヴちゃんみたいな子供っぽいカラダの娘、
すごく、好みなんだよね。

えへへ……さ、さうっすか……。
そりゃあ、うん、よかったです、へい

わたし……ううのはじめてだから、
その……お手柔らかに

気持ちわる！ 人間界のおっさんって、
みんなこんななの？
はあ、どんなイヤらしいことされるんだろ。
ちよっと後悔、してきたかも。

大丈夫大丈夫！ おじさんは慣れてるから、
せーくんが任せてもらってかまわないよ。
一緒に楽しもうね。

あの、これ、何か楽しいんすか？

最高だよ。
君みたいな可愛い娘が、
おじさんのち○ぽを
嫌そうに触ってるのがイイ！

スリ
スリ

は、はあ……。

確かにイヤだけどさ。それでいいのかおっさん

……って、うわあっ……
なんだコレー!?

おっさんのア○コから
なんか白いモンが……。
うええ……

ゴッ

ビグッ

!!!

それはおじさんのガマン汁だよ。
うっ……それにしてもガウちゃん、気持ちいいよー
もっといっぱい、出るからねー!

うわあっ!!
きたなっ!!
ちよっ、やめ、かけないでっ

おっさんのア○コから白く濁った
汁がまわりに飛び散る。
うう……変な匂いする、コレ

ピクッ

どろろ

「これがおじさんの精液ってやつだよ。
精液は、知ってるでしょ?」
……ほら、じゃ、パンツ、脱ごうか。
今からはガウちゃんにも、気持ちよくなってもいいからね。

あうっっ……………んっ

あくもうべとべとして気持ち悪い！
おっさんのア○コがわたしの大事なところを
擦り付けられるたび、思わず声が出てしまう。

。。。。!!

あうっ、ガブちゃん、気持ち悪いわー
「それをさっさと強く動かしなさいな。」

ゴニ

はんっ！ あんまし早く、動くなってるの……。

ん？ 目上のおじさんに向かって
そんなクチをきく悪い娘にはおしなまなす。
そらっ、ほらっ……

あっ、っ……
あんっ……

ちよ……
あっ!

強く腰を押しつけられ、
思わず高い声が出てしまう。
うう……おっさんの精液で、
大事なトコロが汚れちゃう……

ピクン

ズシュー

プン
ムン

ふふ、ガウちゃんそんな可愛い声あげちゃって、
もしかしてちよっとおっさん持っちゃったのかな？

そ、そんなワケないでしょ……
「こんなの、よくわかんないし、
汚い……」だけだった

どう考えても気持ち悪いだけだったの。
ニヤついたりおっさんの顔にイライラする。

クチュ……

ズツユ

え、ほんとかなあ……
おじさんは、はあ……「んな」
気持ちいいのになあ……

ア○コとお腹に熱い感覚が広がる。
えっまた!?

うっうあっ!...
やめっ! そんなにかけないでよ!

そう言っても聞く耳を持ってくれない、
びゆくびゆくと汚い精液を出し終えるまで、
おっさんはわたしから離れようとしなかった。

ビュン!!

びゅん

ふう、ふうー……ガヴちゃん、
今日はよかったよ。
また今度、いっぱい可愛がってあげる。

はあ……お金、いっぱいくれるなら……うん

こんにちははるがヴちゃん♪
今日もよろしくね

んっ。。。!!

わたしと会うなり、おっさんは汚いモノを
顔に押し付けてきた。
うっ……臭い。

おじさん一週間がヴちゃんに会えなくて
寂しかったよ。
ほら、もうごんなになっちゃってるだろ？

ヌヂ
ユ

ピン

そう言いながらもわたしの顔にこすりつけ、
汚い汁が垂れる。うつつ……

……………なんか、この前より、臭いんだけど。
おじさん、ちゃんと洗ってるの？

とろよ……

今日はガヴちゃんに綺麗にしてもらおうと思ってるね。
ち○ぽだけは、洗うのがおぞなりになっちゃってるんだよ。

うえっっ！
なんだソレ、意味わかんないし……。

ほらっ、うっっっ……
少しだけ、出ちゃったよ。
ガヴちゃんのほっぺ、柔らかいなあっ………

ドロっとした精液が
ゆっくりとわたしの顔に垂れていく。
おっさんは満足そうだ。

びっ……!

グズン

ドブドブ

よし、じゃ次は……ガヴちゃん、脱「う」か……
それで、おじさんを気持ちよくしてあげよう。

てはいうか、な、何させられるの、わたし………
ていうか、まだ出すんすか………

びっ

ええ……………
「これを、舐めるの？ わたしが？」

むわあ

裸にしていきなりそんなワケわからんこと
言ってくるとか、全くもって信じられない。
はあ、馬鹿みただな……。

うん……

そ、そ、早く早く舐めて、綺麗にしてね。
ほら、早く早く……

んん……………お、お、お、お

んっんっんっ
んっんっんっ
んっんっんっ

うええ……なんだこの味、
くさいし、回の中に絡んで、うっ、
匂いが残る……

んっんっんっ!

おおっ！ ガウちゃん、上手だね〜！
おじさん、大満足！
そっ！ もっと強く、しっっかり、舐め回して〜

うあっー！ か、顔にそんなにかけないでよー！
もう、なんでそんな顔にばっか……。

精液でべとべとだった頬に、
さらに濃い精液が塗りたくられる。
ううう、まだこんなに出るなんて……。

ビュン

ズッ
チャッ

!!

まだまだこんなもんじゃないよ。
さて、ガウちゃん、おまたせ。
お次は今日のメインディッシュだよ。

顔にかかった精液を拭く暇ももらえず、おっさんは
わたしを少し乱暴にベッドに横にさせた。

二回も射精したのに……
まだ収まりのつかないおっさんのおち○ちんが、
わたしの大事な場所にあてがわれる。

あの、ほんまに「うん」
「うん」はしなへんやな？

そりゃあお金払ってるんだから、
その分はしっかりと楽しませてくれないと。
それに、「うん」するのは早く経験しておいた方が、
お友達にも自慢できるよ？ うん

ピクッ

ピント

あ、いやでもまだ心の準備が……
あ、あうっ……！！

うっ……

ピン

言い終わる前におっさんがわたしの
中に入ってこようとする、
ああ、わたしの処女、こんなところで失うのか……。

ズズズ

プツツ

んっ……ガヴちゃんのおま○「○」キツキツを……。
中々、入っていけないよ……。
少し強引にいくよ？？それっ……くっ……

あぐっ!! いった!!
い、そんなに奥まで.....
い、だいたいっ!!

うぐっ!! なんだこれっ!!
い、痛すぎ.....っ!!
ア○コ、無理矢理、広げられて.....

ヌ
プ
ッ

あ
っ

はあっ.....ぐっ、っ、っ.....

はあ、はあ、入ったよ。「」までかな.....
ガヴちゃん、頑張ったね.....おじさん、嬉しいよ。

はあ、はあ、ちよつと……
マツ、痛いんだけど……おつちの、わがや……

おつ、嬉しい「と」言ってくれねえ〜！
それに比べて、ガウちゃんの中は
すつこく小さくて、狭いねえ。
これからいっぱい、広げてあげるから。

ずいっ

うっ……ちよ、激し……
……あのさ、もう、動かすのはいいんだけど、
な、中「は、絶対に」出さないでよ……
妊娠しちゃうし、「これはお金もらっててもホント、無理だから……

マツ

わかってるわかってる！
ほらっ！んじや中に留さない分。
その可愛らしいカラダで受けとって！ね！

ふう……でもちよっと残念だなあ。
コレがガヴちゃんの中に出せたら、
絶対おま○も気持ちいいと思うんだけどな

びゅっ

いっきに引き抜いたかと思うと、
濁った精液が遠慮なしにわたしを汚していく。
ア○コもお腹ももう、ベトベトなんだけど。

ズズズズ

そんな……冗談は、やめてよ……。
そんなの、やだ。

今日は水着を着てこんなことさせられてる。
こんなの……わたしみたいなのをやっておっさんは気持ちいいもんなの？
……ラファイエルみたいなのやつにさせればいいじゃん……。

あ、コレ……何？
こんなのが楽しいの？

○○○

ぬちゅ

はあ……はあ……、
え？ 楽しいというか、
すっごく幸せだよ。
ガヴちゃんのおちっちゃなおっぱいが、一生懸命擦れて、
すごく気持ちいいよ。

はあ、そ、そんなもんすか

はあ、もうおち○ちん「んなに大きく、
カタくなっちゃってるし……。なんだかな

ゲームの課金の為とはいえ、
自分の胸がこう汚されていくのはなんとも悲しい。
さすがにこれは、後でしっかり洗わないとなあ。

んう。。。

ズルン

又チエ

うう……ガヴちゃんのおっぱい。
汚しちゃうからね！
おじさんのミルク、いっぱい
かけてあげる！

あ、ちよつと！
「」のままかけるのは……！

くっ………！
そんなワケないでしょ……。
こんな汚いし、最悪だったば……。

もう胸が精液でベツトリ汚れちゃってる。
あゝ……水着にもかかっちゃってるし。

ドロオ…

ポ
ン

はあ……ほんとガヴちゃんの水着、
可愛いしエツチだなあ。
ほら、今度はおじさんの上に来て、
今日は水着のまま、セツ○スだよ。

はあゝ、水着ってだけでなんでこんなに嬉しそうなんだ。
まさかこんなことの為に着るなんてなあ……。

あんっ…… んんんっ!

おっさんの腰が激しく揺れたかと思うと、わたしのア○コに急激に熱い感覚が広がってくる。え……そんな、これって……

あ……っ…… 熱い……
うそ、だ……。 やっぱリ「ね、中」か?

んんん!!?

ム

ピンッ

どぴんた

うおう…… あ、気持ちいい。
ごめんよ。ガウちゃんの中、おじさんので一杯になっちゃったね。

さ、最悪！ 中には出すなって叫びたの……。
うっ…… お腹、気持ちわる……。

ビュブ……とイヤな音をたてながらも、おっさんは腰をクチュクチュと動かしてる。うう……今、そんなに動かないでよお。

ちよ、もう抜いてってば……早く洗わないと……早く。

ドクン…

ドクン

やだっ!!

え、おっさん、もうちよっこの「おっさん」の「おっさん」……ま、いいや、そなたじゃ今「おっさん」……あと、中途ししちゃったから、特別料金を払ったげる。それでいいでしょ？ ね？

そ、そんな問題じゃ……ちよっこの反省して……

んぶつ!!
ちよつと!!

ング!
あんまり、そんな、奥まで……!!

マッ
マッ
マッ

ん
ん
ん

今日は会うなりいきなり裸にされたかと思うと、
汚いおち○ちんを無理矢理口にねじこまれた。
ん……味と、匂いが、すごくて、気を失いそうだ……。

ガヴちゃん! ガヴちゃん!!
前にフェラしてもらったときは、
顔を汚したただけだったからね。
今日は、いっっぱい、飲ませてあげる……。

はあ……!?! 飲むって、精液を……?!
あんな汚くて、臭いのを、飲ませられるの?!

ズン
ズン
ズン

ズズズ

んっんっ……んん……
んぶうっ……!
そ、そんなの……

激しく喉奥を突かれているので、
うまく言葉にならない。
さっきからおち○ちんがビクビクと
震えているのが口に伝わってくる。
うう……出されちゃうのか、このまま

うう……イクよ。ガヴちゃん、おじさんの精液、
いっぱい舐めちゃうからなっ!

さあ〜て次は「こっちの、可愛らしい穴かな。」

えっ………？

もうすでに疲れ果てていた。
でもおっさんはわたしのお尻を見て、不穏なことを言い出す。

ピクッ

よし、んじや、挿れていくよ〜。
力抜いてね〜、そのままです、大丈夫だから。

キーン

あう.....うぐぐ.....はあ、はあ.....
えう、うぐぐ.....

はーっ、はあく、よしよし、なんとか全部、入ったね。
それじゃ、動くよ。ガブちゃんのお尻も、いっぱい汚してあげるから。

あ...
ぐう

びび

ぐ

びくん

なにを勝手な.....。
もう、限界.....お尻、広がっちゃう.....。

あぐっっ!!
やめっ!! そんな、動かないで!!
お尻、壊れちゃうよっ!!

自分もきついついとか言ってたクセにガンガン動いてくる。
なんでこんな、自分勝手なんだよ……もう

やっぱりはじめの穴は、きつくて、
気持ちいいよ、刺激が、すっ!!
いいよ、お腹、満たしちゃうよ……
出るよ、おじさん、いっぱい出る。

ズ
ン
ズ
ン

はうー！ はあ~~~~
あっあっ.....あぐ

お腹の中を上がってくるような初めての感覚。
この中身がおっさんの精液なんだから、すごく、不快.....。

~!!

ゴブ

ビュ

はあ.....はあ、はひ.....はひい

ガヴちゃんのおま○も、くっついてて、可愛いよ。
こっちもちゃんと使っておげるから、安心して。

ううう、また、
こんな無理矢理い……。

腰をひねって逃げ出そうとしたけど、
みっちり挿入されてしまい、
わたしの腰は言うコトをきかない。

ダメダメ、そんな逃げようたって。
本心じゃないのは、わかってるんだから。

んっ……！！

ピクンッ

ポッポ

ピル
ポム



は、はあ……、
そんな、わたしはお金をえももらえれば
こんなもの……「こんなもの」

大体精液は飲ませられるわ
お尻も犯されるわ……。
今日のはお金をもらっても
やりたくないことばかりだって……キツイ。

あれ、うんちを……「うんち」は……
ヒクついてるけどなあ……。
おじさんの精液欲しい欲しい……

ヌプン

ズプン

はあ、はあ、
いや、そんな「はあ」は……

はあ…
はあ

そう言いつつももらさない顔になっているのが
自分でもわかる。やばい、わたしのカラダ、
どうなっちゃったの……？

はは……丸いお尻をみるみるおぼれていく。
イケナイ娘だよ。全く。

コッポ…
ぞくぞく

ドクン

おっさんがわたしをこんなにしたんですよ。
……と思ったが、わたしは黙ってセックスの
余韻に浸ってしまっていた……。



おしまい